

# 大阪北部地震を契機に 発信を大切にしながら災害に向き合い備える

大阪府吹田市 山二地区防災対策委員会

## 大阪北部地震がくれた教訓

2018年の大阪北部地震は、吹田市山二地区では、大きな人的被害も起こらずに済みましたが、私たち自主防災組織に大きな課題を残しました。あの日、残念ながら私たちは自主防災組織というチームとしての動きをとることができなかったからです。

## 一人でも悲しい犠牲者は減らしたい

13・5人。上町断層帯地震発生時の吹田市山二地区での想定犠牲者数です。家屋全半壊は41・6%、1025棟。避難者数は1391人。改めて認識した数字です。私たちの町で、13人もの犠牲者が出るという

のです。

私たちの山二地区は、大阪北部の吹田市千里丘。千里丘陵の南端部で、約4300戸・人口約1万人。いくつかの大規模マンションも増えてきましたが、古い戸建て住宅が立ち並び、道は坂が多く狭く、大地震が起これば各所で通行不能が起こりそうです。一人でも悲しい犠牲者は減らしたい。そんな思いの中で、これまで11年続けてきた防災活動の洗い直しが始まりました。

## 問題提起するなら今！

これまで、私たちは、毎年1月に行われる吹田市の一斉合同防災訓練に参加し、少しずつ手直しするなど、地道に活動してき

ましたが、大阪北部地震で「防災訓練をやっているだけではダメだ。実際の災害に向き合い、具体的な備えを作っておかねば」という暗黙の意識が生まれてきました。「問題提起するなら今！」そう考えとにかく動くことにしました。

課題は山ほどあります。いざという時の安否確認、スタッフ同士の連絡方法、避難所の立ち上げ、家屋の下敷きになった人の救出、要支援者支援の具体化など。しかし、まず半年後の1月の吹田市防災訓練で、できるところから改革を始めることにしました。

様々な紆余曲折を経て、何とか1月の防災訓練までいくつかの具体的取り組みを提案し実施することができました。それは、防



「本気で動きはじめました」という地区住民への発信でもありました。



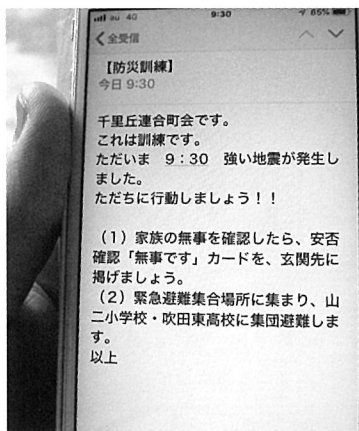
防災訓練が行われた

## はじめて地区全体に発信できた

実現できた改革の中で特に反響の大きかったものは、「災害時安否カード」という樹脂製の黄色のカードです。私たちが「無事ですカード」と呼んでいるこのカードを、いざという時、ご無事なご家庭では玄関先など



安否確認無事ですカードが掲げられた (右端)



吹田市一斉合同防災訓練の時に配信された地域一斉メール

目立つところに掲げていただく、掲げられていないお宅には、「大丈夫ですか?」と必ず声掛けをしようということで導入しました。経費もばかにならず、町会員だけに配ったかどうか、要支援者だけにしたらどうかなど、いろいろありましたが、最終的には、町会員に限らず地区全戸配布に取り組みことにしました。とはいえ、はじめての経験で、役員さんのみならず、100人ぐらいの人の手で何とか配りきりました。カードに同封した説明プリントには、「私たちは災害に向き合っていきます」というメッセージを盛り込みました。

1月20日の吹田市防災訓練の日、朝9時半一斉に掲げ、その数を連合町会の組長さんに調べていただきました。組長の64%にあたる120名の組長による調査で、町会内のカードの推定掲揚率は52%という結果ができました。

また、地区の皆さまに、いざという時の災害関連情報を迅速にお届けする方法として、地区一斉メールシステムを導入しました。ITに詳しい役員を中心にチームを組み、「ガラ携」でも受信できるEメールを採用し、防災訓練の時も配信しました。しかし、お金の問題もあり、「登録は町会員に限定」したスタートとなりました。また、9か所ある緊急

避難集会所から避難人数をグループホームの活用で集約する試行も行いました。

そんな訳で、とまどいも多くありましたが、結構もりだくさんな改革のもと、1月20日吹田市防災訓練に臨み、おかげさまで、雨天にも関わらず500名を超える方々が、一時避難地に集まっていたいただきました。災害に対する地区住民の不安と自主防災活動に対する期待の表れであるとひしひしと感じました。

### 避難所運営マニュアルづくりに着手

今、私どもは改革の第2段階に入りました。具体的に「災害に備える」態勢づくりに取り掛かっています。地区内の指定避難所3か所の連絡会をこれまでに4回積み重ね、避難所運営マニュアルづくりに着手。小学校の校長先生にも毎回ご参加いただき、今は小学校での避難所レイアウトづくりと防災倉庫の設置場所などを詰めているところです。体育館内の計測も行いました。その他避難所を機能させていくためには、発電機・照明・災害トイルなども整備しなくてはなりません。

300名以上いる要支援者をどう支援していくかも大事な課題です。吹田市の福祉総務課との協議も始めたところです。

一斉メール管理者7人のスキルアップも必



山二地区防災対策委員会の広報紙

要です。また被害情報をうまくつかみ救出救護に有効なものもしなければなりません。

### 「山二地区防災計画」を練り上げ発信したい

活動内容は結構多岐にわたります。今年の方針は、言わば「山二地区防災計画」を作り地区の皆さんに発信していくことです。

5月には、カラーの広報紙を作り全戸ポストイングを行いました。これも初めての取り

組みです。

私たちの「地区防災計画づくり」、まだまだ取り組みは始まったばかりですが、①取り組みの過程で仲間になっていただいた方々の力を生かし

②地区の皆さまに率直に発信を行い、協力を求め

③必要な資金づくりにについても率直に訴えながら

進んでいきます。

### 大阪北部地震1周年

2019年6月大阪北部地震1周年。私どもは「千里丘防災DAY」とネーミングした取り組みをいくつか行いました。6月16日の朝「無事ですカード」を再び掲げる取り組みもその一つです。せっかく「安否確認カード」を配っても忘れてしまったのでは意味がありません。掲揚率は、すこし下がって47%でした。しかし、継続が大事と考えています。

最近他の地区とのつながりができてきて、とても励まされます。「地区防災」を本気で、ロマンをもって今後も訴えていきたいと思えます。

(山二地区防災対策委員会事務局長

岡崎太郎)